

競 技 日 程

【 監督会 8:15 】【 開始式 9:00 】

令和 2 年 10 月 11 日(日)

		〈 トラックの部 〉		〈 フィールドの部 〉
1	9:15	女子 コンバインド`A 80mH (2 組)		【 走 高 跳 】
2	9:25	男子 コンバインド`A 80mH (1 組)		
3	9:35	女子 5・6年 1000m 決勝(グループスタート)	10:30	女子 コンバインド`A
4	9:45	男子 5・6年 1000m 決勝(グループスタート)	13:30	男子 コンバインド`A
5	10:00	女子 5年 100m 予選(4 組上位 8 名)		
6	10:15	女子 6年 100m 予選(4 組上位 8 名)		
7	10:30	男子 5年 100m 予選(4 組上位 8 名)		
8	10:45	男子 6年 100m 予選(4 組上位 8 名)		【 走幅跳 】
9	11:10	女子 1・2年 50m 決勝(8 組 タイムレース)		
10	11:45	男子 1・2年 50m 決勝(8 組 タイムレース)	9:30	女子 コンバインド`B
11	12:15	混合 5・6年 400mR 予選(3 組上位 8 チーム)		{ Aピット Bピット
12	12:45	混合 1~4年 400mR 決勝(4 組 タイムレース)	10:30	男子 コンバインド`B
13	13:10	女子 5年 100m 決勝 B		{ Aピット Bピット
14	13:15	女子 5年 100m 決勝 A		
15	13:20	女子 6年 100m 決勝 B		
16	13:25	女子 6年 100m 決勝 A		
17	13:30	男子 5年 100m 決勝 B		
18	13:35	男子 5年 100m 決勝 A		【 ジャベリックホール投 】
19	13:40	男子 6年 100m 決勝 B		
20	13:45	男子 6年 100m 決勝 A	10:50	女子 コンバインド`B
21	13:50	女子 3・4年 100m 決勝(14 組 タイムレース)	13:30	男子 コンバインド`B
22	14:35	男子 3・4年 100m 決勝(12 組 タイムレース)		
23	15:15	混合 5・6年 400mR 決勝		

< 競 技 注 意 事 項 >

1. 本大会は、2020年（公財）日本陸上競技連盟競技規則ならびに、本大会要項によって行う。
2. 競技場の使用上の注意
 - ① 更衣室は、男子・女子各更衣室を利用すること。（正面スタンド）
 - ② 貴重品は各自保管すること。（盗難防止上）
 - ③ 主競技場トラックに限り8：00～8：45の間、開放する。（フィールド芝生立入禁止）
 - ④ 医務室は正面スタンド下に設ける。
 - ⑤ 3年生以上はオールウェザー用スパイクを使用してもよいが、9mm以下の平行ピンを使用すること。
スパイクは、競技場以外では履かないこと。（スタンド・通路・ロビー等は使用禁止）
 - ⑥ 3・4年100m、5・6年100m、400mリレーのスタートでは、スパイクシューズでない競技者もスターティングブロックの使用ができる。
 - ⑦ その他の注意事項は、役員・審判員の指示に従うこと。
3. 競技者の招集について
 - ① 招集所はメイン競技場第3ゲート付近に設ける。
 - ② 招集には、各団体の指導者または保護者が競技者（児童）を必ず引率すること。
 - ③ 競技者は、競技開始時刻30分前（走幅跳は40分前）までに招集所に集合してコールを完了すること。
※組数の多い 1・2年50m、3・4年100m、5・6年100m のコール完了時刻は次のようにする。

1組 ～ 5組	競技開始30分前
6組 ～ 10組	競技開始15分前
11組 ～	競技開始時刻
 - ④ リレー競技は、予選・決勝ごとにオーダー用紙を競技開始時刻1時間30分前までに競技者係（招集所）に提出すること。（オーダー用紙は招集所にあります。）
 - ⑤ 最終コールを受けて競技者係の指示に従って入場すること。
4. 競技運営について
 - ① トラック競技の走路順（レーン）、フィールド競技の試技順はプログラムに記載してある通りで行う。
 - ② トラック競技
 - ・ スタートの合図はイングリッシュコールとする。
 - ・ スタートはクラウチングスタートを原則とする。スターティングブロックは使用しなくても良い。同じ競技者が2回の不正スタートをしたとき、その競技者を失格とし、オープン参加として走る。
 - ・ 棄権があった場合は、そのレーンをあけて競技を行う。
 - ・ 100m（5年・6年）では、予選をタイムレースで行い、A 決勝を予選上位8名までの選手、B 決勝を予選9番～16番までの選手で行う。
 - ・ 5・6年生男女混合リレーは、予選をタイムレースで行い、予選上位8チームによる決勝を行う。
 - ・ オープン種目（1～4年生）は、タイムレース決勝とする。

- ・ リレー競走におけるテイクオーバーゾーンは 30m とする。テイクオーバーゾーン外から走り出してはならず、ゾーンの中でスタートしなければならない。
- ・ リレー競走に出場する選手のユニフォームはできるだけチームの全選手とも同一デザインとする。
- ・ リレーに出場するマーカーテープは招集所に用意されているものを使用する。
- ・ 出場競技の時刻が 2 種目重複していてコールに来られない場合は、事前に審判員にその旨を必ず伝えておくこと。
- ・ 80mハードルは、ハードルの高さ 70cm、ハードル間 7m、ハードル台数 9 台、スタートから第 1 ハードルまで 13m、最終ハードルからゴールまでを 11m とする。
- ・ 競技者の安全のため、フィニッシュライン到着後も自分に割り当てられた走路（レーン）を走ること。

③ フィールド競技

- ・ 走高跳の跳び方は「はさみ跳び」とし、脚が最初にバーを越え、マットへの着地は足裏からとする。男女とも 1m05cm から試技を行う。また、バーの上げ方は以下の通りとする。

男子…(練習 1.00m)1.05-1.10-1.15-1.20	以降、3cm刻みで上げるが、1人になった時はその限りではない。
女子…(練習 1.00m)1.05-1.10-1.15	

- ・ 走高跳は、自分が申告した高さから試技を開始し、2回続けて失敗した時点で終了とする。
- ・ 走幅跳、ジャベリックボール投は全員 2 回の試技とする。
- ・ ジャベリックボール投の助走距離は 15m 以内とする。(やり投のピットを使用する。)
- ・ ジャベリックボール投の試技の際には、ボール本体を持ち、オーバーハンドスローで投げることにする。羽だけを持って投げることは禁止する。

④ コンバインド競技

- ・ 本大会におけるコンバインド競技は以下の順で行う。
コンバインド A：80mハードル、走高跳
コンバインド B：走幅跳、ジャベリックボール投
- ・ 各種目の得点は、『JAAF 小学生混成競技得点表 (2020)』による。
- ・ 80mハードルと走幅跳における風速は得点・順位に影響しない。
- ・ 100点以下の記録は、すべて 100点とする。
- ・ スタートまたは試技を行ない、参考記録 (80mハードルにおけるオープン参加時の記録)、記録無し、失格の場合は、50点 (参加点) とする。
- ・ スタートまたは試技を行なわない場合は、棄権とし、0点とする。
- ・ 最初の種目で棄権した競技者は、2種目目には出場できない。
- ・ 2種目の合計得点で順位を決定する。合計得点と同点の場合は、同順位とする。

5. 競技場への入退場について

- ① 入場は、すべて係員の誘導および指示に従うこと。
- ② 退場は、審判員の指示に従うこと。

6. 表彰

各種目 8 位まで表彰状を授与する。

全国大会実施種目優勝者、優勝チームには、例年全国大会において選手団に配布している記念 T シャツを渡しします (サイズは指定できません)。

7. その他

- ① 救急・保護については、応急処置はするが、あとは主催者において責任を負わない。
- ② 監督・付き添い者に対し、主会場内での競技者の誘導をお願いすることがあります。御協力をお願いします。
- ③ 横断幕・チーム旗・のぼり旗等は、メインスタンド全て、サイドスタンド最前列、バックスタンドK階段からL階段の間の中段手すりならびに最前列には使用しないこと。
- ④ 競技会場（練習場・応援席）で生じたゴミ類は全て持ち帰ること。
- ⑤ 不明な点は、本部（総務）に問い合わせること。
- ⑥ プログラムは、受付にて1部500円で販売する。
- ⑦ 備考
 - (1) 本大会は“日清食品カップ”全国小学生陸上競技交流大会（全国大会）の種目を実施しますが、今年度は全国大会は中止になりました。
 - (2) 日本陸上競技連盟，県陸上競技協会が公表したガイダンスに沿って，感染予防対策、競技運営を実施します。また、感染状況によっては中止する場合があります。